

地域社会における手本ひながた



天理教民生児童委員連盟委員長

荒川 博之

民生委員制度は、大正六年に岡山県で創設された、「済世顧問制度」に端を発して、今年記念すべき百年目を迎えました。

この節目の年に、天理教民生児童委員連盟では、ようばく民生委員としてこの時句に、会員相互の情報交換を通じて、お互い地域の違いを超えてどう動かせていただくべきか、より地域のお役に立てるように活動するにはどうしたらいいか、本連盟は全国に会員がおりますので、難しい反面、多地域の情報が得やすいという利点を生かして、日ごろの活動の充実を図りたいと、交流の場を作ることになりました。

連盟としましては、ようばく民生委員としての向上を目指し「おやさど研修会」の開催、そして各ブロックにおいて、おたすけの現場をお与えいただく私たち民生委員が、おたすけを志すようばくと共に活動したいと、「おたすけ研修会」を開催し、又社会

福祉大会における分科会と、情報交換会などを通じて、ようばく民生委員として積極的に活動を進めていけるよう努めております。

現在連盟の会員数は311名を超えていますが、一時は千名に近い会員がおられました。その後3年に一度の改選時期を迎える度に、会員数は増減しておりますが、残念ながら連盟で全員把握できておりませんし、会員になって下さっている方には、連盟会費をお支払いいただいておりますが、こうした研修会に参加できない会員は、現在のところほんの一部です。

私たちは地域福祉の担い手として、それぞれが良き隣人として住民に寄り添い、身近な相談相手となり、又行政のパイプ役として、地域の声を行政に届ける大切な御用をさせていただいておりますが、次の塚に向かう一步を歩み出している私たち、広く地域の情報に接し取り入れていければ、もつと担当地域のお役に立てるのではないかと思います、機関誌の発刊を計画いたしました。今後連盟からの情報だけでなく、会員皆様からの情報もお知らせいただければ、より有効に活用いただけると思う次第でございます。

地域におけるようばく民生委員として、皆様の益々のご活躍を祈念し、記念誌発刊のご挨拶といたします。



天理教民生児童委員連盟

平成29年度活動報告

● 第10回 社会福祉大会 (4月25日・於南右第二棟)

【内容】式典、分科会 (連盟行事)

【記念講演】

演題 「障害者と共に住みよい社会実現を目指して」

「歌は世につれ世は歌につれ、
福祉も世につれ世は福祉に願いを」

講師 橘文也氏

公益財団法人日本知的障害者福祉協会会長、
社会福祉法人栗山ゆりの会ハローE.N.J.O.Y施設長

【参加者】社会福祉大会418名、分科会25名

● 第4回 地域のおたすけ研修会 ―北海道ブロック―

(8月30日・於北海道教務支庁)

【内容】懇親会 (29日夜)、講演

テーマ 「子ども食堂」

講演① 「体験発表」

講師 和田与志男氏 平取分教会長

講演② 「子ども食堂」

講師 上平 敏子氏 天平分教会長夫人

講演③ 「子ども食堂の進め方・地域の子ども達への支援」

講師 小平 正治氏

札幌市白石区社会福祉協議会 事務局長

【参加者】62名

ご案内

● おやさと研修会

本年は民生委員制度百周年の年でもあり、初心に返って努めさせていただくことが大切な年であります。

今年の「おやさと研修会」は高齢化社会の中で、老いを積極的に受け止め、意欲的に活動に生かしていく上に実に示唆に富むものであります。また、研修会終了後、情報交換会を計画しております。御用多い中とは存じますが、何卒ご参加いただきたくご案内申し上げます。

【期日】平成29年11月25日(土) 15時30分受付

【会場】本部社会福祉課 研修室 (天理市三島町1-1)

【情報交換会】神崎詰所 (参加費1千円)

講師 今中 孝信氏

天理よろづ相談所病院 総合診療教育部
アテンディングドクター

社会福祉法人 近江ふるさと会・高齢者問題研究所長

演題 「高齢者が幸せに生きる道」

― 老いと病と医療との付き合い方 ―

天理教民生児童委員連盟 平成30年度活動計画

● 4月25日 「社会福祉大会・分科会」

● 11月25日 「おやさと研修会」

● 3月上旬 「第5回地域のおたすけ研修会―四国ブロック―」

平成 28 年度決算及び 29 年度予算

28 年度収入合計 887,993 円

28 年度支出合計 404,595 円

29 年度 余剰金 483,398 円

収入の部

項 目	予算額	決算額	29 年度予算	備 考
繰越金	582,993	582,993	483,398	
年会費	240,000	231,000	240,000	@1000×231名
研修参加費	0	74,000	70,000	おやさと研修会 48,000 おたすけ研修会 26,000
利 子	0	0	100	
合 計	822,993	887,993	793,498	

支出の部

項 目	予算額	決算額	29 年度予算	備 考
おやさと研修会	160,000	106,280	160,000	懇親会103,580、 講師土産 2,700
おやさと研修会	350,000	198,499	350,000	H29年3月5日 中国ブロック
委員会助成	50,000	53,402	50,000	
慶弔費	30,000	20,000	30,000	保護司連盟60周年お祝い金
事務費	30,000	14,514	30,000	葉書代、用紙代等
予備費	202,993	11,900	173,498	委員長岡山教区設立総会 出向費
合 計	822,993	404,595	793,498	

監査報告

監査の結果、活動は適正に実施され、帳簿の記載並びに証拠書類等は適正に且つ正確に処理されておりました。

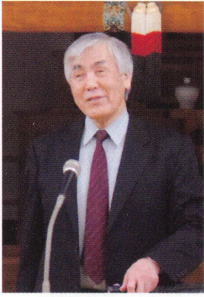
平成 29 年 4 月 25 日

地域のおたすけ研修会（報告）

「こども食堂」——中国・北海道ブロック——

● 中国ブロック

平成29年3月5日岡山教務支庁で『こども食堂』をテーマに開催、近隣教区より約70人が参加した。荒川博之連盟委員長、板倉知幸本部社会福祉課長の挨拶の後、第一講①「地域のおたすけに取り組む」と題して天平分教会長夫人上平敏子氏が『こども食堂について』講演。親の変則夜間勤務・虐待・ネグレクト・貧困の



連鎖・貧困の再生産・DV・シングルマザー・孤立した子育て・あきらめ感・無縁社会等々の問題にどう取り組み、どう寄り添い支援するのか、逸話編や論達第三号等に思いを馳せ「おかえりこども食堂」を立ち上げた。学校や行政と連携し地域に根を張る教会を目指し、土地とこの手本ひながたとして、道の将来に向けておたすけへの抱負を語った。

第一講②は備明分教会長佐藤住雄氏が「民生委員を務め終えて」と題して講演。三期15年を勤める中で、陽気暮



らし講座（文化講演会）の開催、75歳以上の方々の生き生きサロンの企画、ご近所声かけネットワークにおける高齢者虐待の早期発見のしくみ作り、生活保護費申請の立ち合い、障がい者への寄り添い世話どり等に、よふく民生委員として底なしの親切で歩んだ信条を語った。

第二講は岡山ライトハウスイキ理事長竹内昌彦氏が「私が歩んだ道——見えないから見えなかったもの」と題して、自らの生い立ちや視覚障がい者の生活を語り、点字ブロック上に物を置かないことや声掛けに迷わないでほしいと支援について言及。人は何故勉強するのか、求める進路が得られなくなったらどのように生きたらよいのかと問い掛け、健康な体を活かした、意義ある人生の素晴らしさに感謝したいと共感を求めた。

北海道ブロック

平成 29 年 8 月 30 日北海道教務支庁で『こども食堂』をテーマに開催、道内各支部より約 60 人が参加した。冒頭荒川博之連盟委員長の開催趣旨と本部板倉知幸社会福祉課長の挨拶があった。

その後、講師の平取分教会長

の和田与志男氏は、近年

「日本の子供の約 6 人に 1 人が貧困状態にある」、子供の将来が生まれ育った環境によって左右されない、貧困が連鎖することのないように、こどもの教育、生活、就労、経済の全般にわたっての対策が講じられている。担当地区での子供の貧困の背

景にある家庭の状況、親の就労形態や疾病、ゴミ屋敷状態等様々な要因が重なり合つて子供が苦しんでいる状況を説明、主任児童委員や民生委員等の関係者が積極的に情報を共有し清掃や片付けの手配をするなど、地域が一丸となつて支援することの重要性を指摘。

また、天平分教会長夫人上平敏子氏は自身が主宰するこども食堂について、教会の月次祭の直会を地域の子どもたちのために開放

し、信者さん方のひのきしんとともに地域住民や学校関係者、学習支援の学生ボランティアの協力を得て、教会が子供たちの居場所として、互いに助け合う陽気暮らしのコミュニティになりママ友会の企画を始め、その中からこどもおぢば帰りに参加する子供も数多くなっていると報告。

続いて「こども食堂の進め方・地域の子どもたちへの支援」と題して協議会事務局長 小平正治氏が民生委員・保護司・スクールカウンセラーとして、傾聴を基本に不登校やひきこもりの少年たちに気長に寄り添い、状況を受け入れて待つことで子供の心が育

つと指摘、事実には焦点を合わせず相手の心の痛みを聞き、黙って横にいてくれるだけで安心感を与えられる、地域につながりのあるこども食堂の相談者になることが大切であり、子供の支援は親の支援をも含めて考えることが必要であると強調。

最後に関係者講師諸氏を囲んでこども食堂の運営方法等について質疑応答があった。

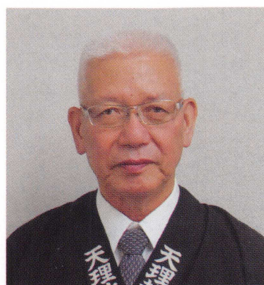


天理教民生児童委員連盟 新委員紹介

氏名
教区
直属教会・所属教会



小湊 憲一 副委員長
千葉教区
本島・本恵山



荒川 博之 委員長
兵庫教区
神崎・神昭市



大前 道廣 委員
兵庫教区
社・明畑



山田 常則 副委員長
奈良教区
西



中村 誠一 委員
北海道教区
洲本・統典



上杉 美子 委員
大阪教区
中河・島里



吉永 道子 委員
東京教区
敷島・梅一



上平 智一 委員
岡山教区
大縣・天平



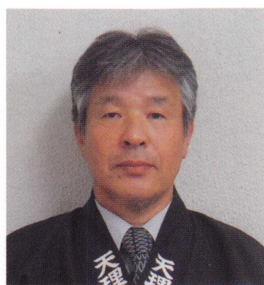
橋本 直之 委員
大阪教区
網干・網阪



北中 秀和 委員
兵庫教区
郡山・攝の宮



野田 裕和 委員
高知教区
越知・土州



毎田 孝則 委員
山口教区
周東・鶯谷



三代 信行 委員
鳥取教区
笠岡・米美